



この「かぶっとこ通信」では、各校の自転車通学時のヘルメット着用推進に係る取組事例やトピックとなる情報を紹介していきます。

今回は、高知工業高等学校の取組を紹介します。



## ■生徒によるヘルメット着用をテーマとしたパレードへの参画

生徒22名がヘルメットを着用し、  
警察と連携した自転車交通安全パレードへ参加

令和3年6月8日、高知南署が主催するパレードに高知工業高等高校の生徒が参加し、県民の方々に自転車の安全利用などを呼び掛けました。パレードでは、白バイを先頭に生徒22名がヘルメットやゼッケンを着用し、高知市棧橋通や百石町周辺の幹線道路を自転車で行きました。



「交通安全宣言」  
ヘルメット着用推進  
に取り組みます！



自転車乗車時のヘルメットの重要性について、生徒会長から「交通ルールの遵守と交通マナーの実践促進、ヘルメット着用推進について」力強い宣言がありました。多くの生徒さんが登下校等に使用する自転車、もし事故にあった際にも、頭部の損傷を軽減することができるヘルメット。このパレードを通して、世代を超えた自転車乗車時のヘルメット着用・啓発に繋がると感じました。パレードには、PTA会長さんや地域の方の参加もありました。

(取材担当コメント)